26) **Reinwardtia Cicanoba** (Ham. ex D. Don) Hara, comb. nov.

*Linum Cicanobum* Hamilton ex D. Don, Prodr. Fl. Nepal. 217 (1825).

*L. tetragynum* Colebr. in Wallich, Cat. no. 1506 (1829), nom. nud.

*Reinwardtia tetragyna* Planchon in Hook. Lond. Journ. Bot. **7**: 523 (1848).

Distr. E. Himalaya, and W. China.

27) **Lobelia erectiuscula** Hara, nom. nov.

*L. erecta* Hook. f. et Thomson in Journ. Linn. Soc. **2**: 28 (1858); non *L. erecta* de Vriese 1845.

Distr. E. Himalaya, S. Tibet, and W. & C. China.

Although this species was united with *Lobelia nicotianaefolia* Roth by Moeliono and Tuyn in 1960, it is clearly distinguishable from its allied species in the field.

*　　*　　*　　*

1960 および1963 両年度に東部ヒマラヤで採集した植物を研究中に，新名または新組合せが必要になったものをここに報告する。21), 22), 23), 27) は先行の同音名があるために，これまで用いられてきた種名が使用できず新名をえらんだ。24), 25) は最近の研究によって属の範囲が変ったために新組合せを行い，26) はより早い種名に基いて新組合せを行ったものである。

---

**○高等植物分布資料** (41) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (40)

**○ヒメマツハダ** *Picea shirasawae* Hayashi 林弥栄氏の著書によると，ヒメマツハダの分布は八岳の西岳と赤石山脈の仙丈岳周辺の山地で，南限は北緯 35° 35′ の上伊那郡伊那里村笹山であるという。浅野一男氏は 1964 年 2 月 23 日，下伊那郡大鹿村青木川の青岩 1400m の石灰岩上で *Picea* の 1 種を採集された。これはヒメマツハダであった。1965 年 8 月 21 日，浅野氏と青木川上流の天子岩をおとずれた。ここにも風化した石灰岩の堆積した上に，ヒメマツハダのみごとな大木が数本みられた。木の下にはヒメマツハダのものと思われる球果がたくさん落ていたが，動物にたべ荒されて原形をとどめているものはみあたらなかった。大鹿小学校にある青岩で採集した球果はヒメマツハダと全く同じであった。天子岩はほぼ 35°28′ であって南限が少し南へのびたことになる。天子岩の植物は久保田秀夫氏が長年にわたって調査されているので，すでに知られているかもしれないが，まだ書かれていないようなのでここに報告する。御世話下さった浅野一男氏，大鹿小学校の方々に深謝します。(東京大学理学部植物学教室　山崎　敬)